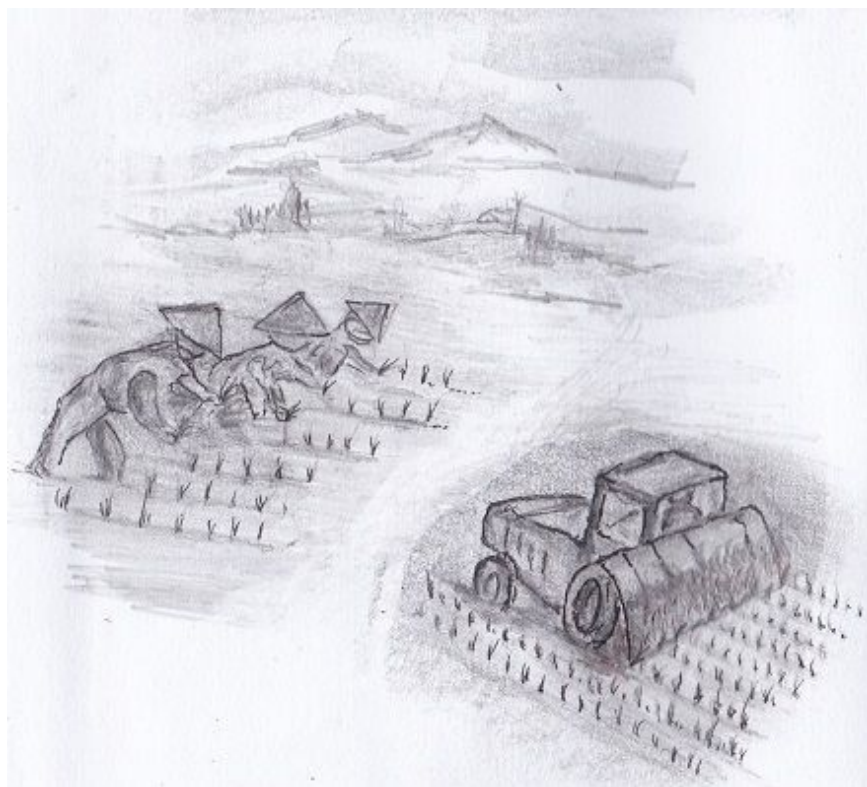


吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



目次

1. 表紙
2. 会長コラムと表紙の絵説明
3. 自然エネルギーすいた (SES) ニュース
4. 生きもの委員会ニュース
「レッドリストすいた2021」完成
5. 生きもの委員会ニュース
「レッドリストすいた2021」希少種の今
7. 知床あれこれ、
コロナ過を生きる&お詫び訂正
8. まちなみ散策会 変わりゆく吹田
円山町およびその周辺 ~歴史と桜のみち~
10. まちなみ研修散策会
光秀の足跡を巡る 福知山
12. 総会案内&寄付のお礼

春夏秋冬

会長 小田忠文

5月から高齢者に対して新型コロナウイルス（以下コロナ）のワクチン接種が始まった。知人に逢うと年令に関係なく「ワクチン済みましたか？」と聞かれ、「痛かったですか、副反応は？」と尋ねられる。それほどみんなの関心事になっている。大規模接種の申込みは東京では空席があるのに大阪は即刻満席になった。それほど大阪の現状が深刻であるとみんなが感じているのだろう。この事態をワクチンが解決してくれることを願わざるを得ない。▲昨今、何かうまくいかないときに「コロナだから」という暗黙の了解が流行っている。コロナのために旅行に行けなくなった、パーティができないなどコロナのマイナス面は多々語られている。その一方で出かけなくても会議ができる、外国を含め遠方の仲間と語り合えるといったコロナ以前には思いつかなかったことが数か月で実現した。市役所まで取りに行っていた証明書が保険証のコピーでもよくなったりして、事務手続きが簡素化されたことも嬉しい副反応だ。さらに雑誌などのアンケートでは、家族で過ごす時間が増えた、出歩かないので出費が減った、自分と家族の健康を考えるようになったなどの答えもある。▲コロナのせいではなかろうが今年は季節の流れが早い。大阪城のソメイヨシノの開花は統計史上最速の3月19日で3月末には満開になった。近畿の梅雨入りも5月16日と統計史上最速だった。本紙表紙の絵を描いている塩田さんが毎年ヒメボタルの調査をしているが、今年は4月27日から光り出したそうで、とてもめずらしいこと。

調査は1998年以来毎年5月1日からはじめているが、初日から発光が見られたのは24年目の今年で6回目だ。2016年以来2019年を除いて毎年5月1日に発光が確認されている。これはコロナではなく温暖化の反映だろう。▲温暖化のせいなのか最近特定外来植物のオオキンケイギクが目立つようになってきた。当会は2015年秋に「特定外来植物から吹田の自然を守る会」とともにオオキンケイギクの駆除作業をはじめた。当時は、やや目立つ程度だったがあれから6年、今年5月は千里ニュータウンをはじめ多くの場所でオオキンケイギクのお花畑が見られるようになってきている。自宅前の花壇でオオキンケイギクを育てている家も散見される。年によっては吹田市も市報すいたに写真と図解を掲載して注意喚起しているが、まだ十分とは言えない。▲一方、外来生物に駆逐されるよりも多くの植物が開発によって消えている。当会の生き物委員会は3年前から市内の希少な植物を調査してきた。昨年3月、市内にいる動植物各部門に知識と経験が豊富なナチュラリスト数名と「吹田希少種の会」を立ち上げ、市内で絶滅に瀕している動植物のリスト作成作業を始めた。▲コロナが広がりはじめた時期と重なり会議するための会場が使えなかったり、会場が使えても大勢では集まてはいけなかったり、そのため会議はリモートにしたり、数人が会議室に集まりそこにリモートで大勢が参加するハイブリッド会議を開くなどして昨年末に素案が完成した。その後、文章の校正、レイアウト、表紙の作画などをウェブでおこなって4月末に完成した。内容の概要は本号4頁にある。近いうちにホームページで公開するのでぜひ見ていただきたい。

<表紙の絵>

思い出の原風景シリーズ（9）

「田植え」

早春の「田起こし」が農作業の始まりだと、本誌に記述したことがあるが、その「田んぼ」に「梅雨」を待ち兼ねて水を張り、「水田」にして、「苗代」で育てた稲の苗を植えるのが「田植え」である。水田に初めて苗を植える折に、豊作を祈願して、田に「榊（さかき）」を建てるなどの神事を行うのが習いでもあった。

苗を植えるのは、何故か女性ばかりで「早乙女（さおとめ）」と云い、男性は水田を耕す「代描き（しろかき）」や「苗運び」など田植えの補助作業を行うのが決まりのようだった。

今では、苗は「ハウス栽培」で育ち、大勢の「早乙女」が一行に並び、一株ずつ植える「田植え」は重労働であったが、それを「田植機」が取って代わり、賑やかだった「早乙女」の声はエンジンの音に代わっている。

（表紙の絵と文：生きもの委員 塩田 敏治）

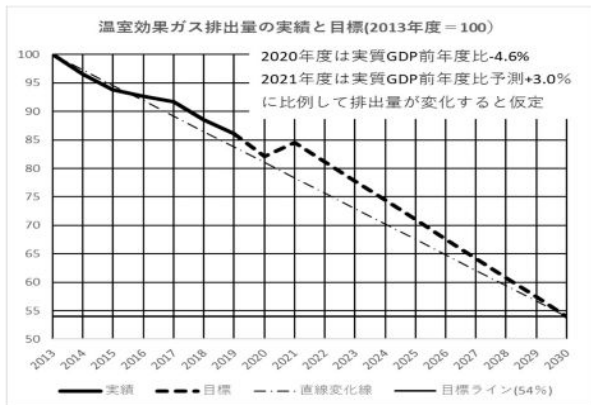


2030年温室効果ガス(GHG)46%削減目標について

河合弘之さんや飯田哲也さんが映画「日本と再生 光と風のギガワット作戦」を制作したのは2017年。それから4年経ち、またコロナ禍も相まって、日本でも「成長のために再生可能エネルギーが必要」という議論が出てきた状況の中、4月に政府がやや唐突な感じで、2030年度の温室効果ガス(GHG:GreenHouseGas)削減目標を2013年度比で46%削減すると発表しました。賛否いろいろありますが、関連した情報を整理しました。

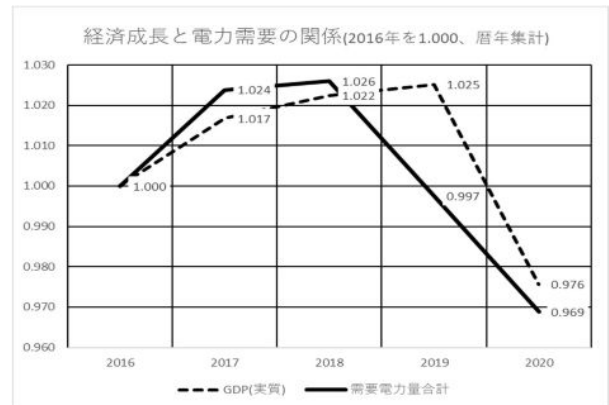
1. 現状はどうなっているか

目標は「2013年度比」であるため、既に7年が経過しています。まず、現在の状況を確認しておきます。GHG削減実績としては環境省HPで2019年度分までは発表されています。2020・2021年度はGDPの実績・予測値をベースにして、その後は2030年度に-46%になるように破線で繋ぐと下記のグラフとなります。2021年度以降、より厳しく削減していかなければ、2030年度-46%目標に到達しないことが分かります。



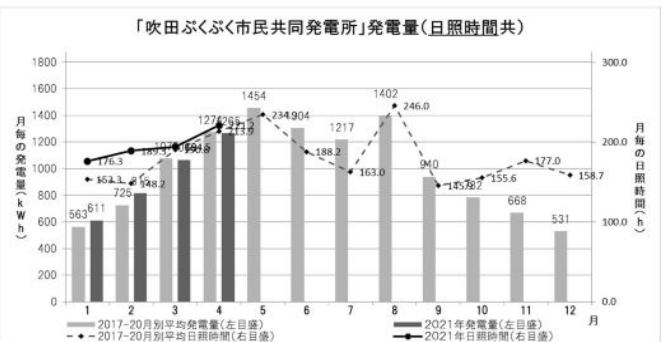
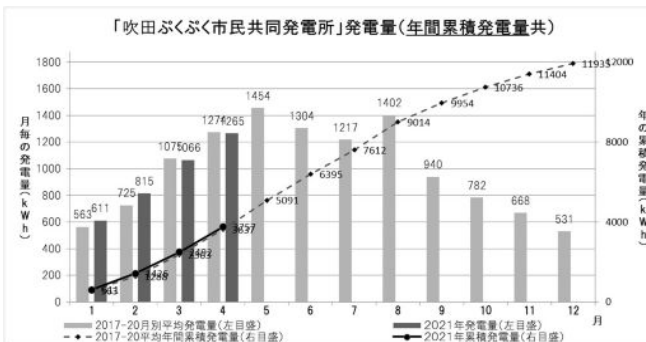
2. 課題は何か

「-46%」という数値自体が議論になりがちですが、今後着実に削減していくことが重要です。課題としては、どのようにして脱炭素のコスト増を賄うための経済成長をしながら、GHG削減をしていくかということになります。例えば、下のグラフの通り経済成長と電力需要には相関性があります。今はコロナ禍によって一時的に電力需要が落ち込んでいる状況ですが、これが戻る際には再生可能エネルギーの利用が不可欠となります。



2~4月の発電概況は以下の通りです。新型コロナに関係なく、発電所は順調に稼働しています。

2月概況:前4年間平均値に対して、日照時間は約128%と増加し、発電量は同112%と増加しました。3月概況:日照時間は対平均値約102%、発電量は同99%で平均並みでした。4月概況:日照時間は対平均値約103%、発電量は同99%で平均並みでした。1~4月累計で、今年の発電量は対平均値103%と微増で推移しています。



1. レッドリストとは

「レッドリスト(RL)」は絶滅の恐れのある野生動植物の種のリストで、これに解説文を付した場合は「レッドデータブック(RDB)」と名付けられている。

レッドリストは民間団体で作成することがあるも、多くは国・県・市などの行政が専門家(学者)の協力を得て作成される。行政はこのレッドリストをベースに「生物多様性地域戦略」を策定し、その行政区域内で開発計画が出たとき、レッドリスト・生物多様性地域戦略をベースに、生物多様性面から評価することになる。

現在、吹田市は新規開発計画に対し、「環境まちづくり影響評価条例」で検討・評価しているが、生物多様性面の評価はそれほど厳しくない。吹田市は人口増による開発計画が続いていることから、早急に「吹田市版レッドリスト・生物多様性吹田市戦略」を策定し、開発計画への適用を希望している。

2. 「レッドリストすいた 2021」の完成

私たち「すいた市民環境会議版レッドリスト」作成は、一年前の2020年3月にスタートした。生物種や生態系をリストアップした後、6月に神戸大学名誉教授武田義明先生からAランクに対する特徴・選定理由の記載例が示され、12月末に集約することを目標に作業を進めた。コロナ禍の中、リモート会議、メンバー間のメーリングリストなどで連絡を重ねた結果、2021年3月ほぼ原案が完成し、校正作業を経て4月に完成した。

レッドリストの基礎となる資料として

- ①吹田市が大阪自然環境保全協会に委託した「吹田の自然 2000、及び吹田の自然 2011」
- ②すいた市民環境会議がヤマサギソウ・ヒキノカサなど千里ニュータウン内の空き地などで見つけた野草
- ③武田先生指導のもと2016年～2017年に実施した吹田市内の田んぼ調査
- ④オグルマ・コタニワタリ・ツルニガクサなど万博公園で見つかった植物、そして昆虫

| | 絶滅 EX | 絶滅危惧 A | 絶滅危惧 B | 絶滅危惧 C | 情報不足 D | 計 |
|------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 生態系 | | 8 | 11 | 29 | 1 | 49 |
| 植物 | 7 | 26 | 15 | 26 | 11 | 127 |
| 哺乳類 | | 3 | | 1 | 1 | 83 |
| 鳥類 | | 12 | 4 | 1 | 3 | 25 |
| は虫類 | | 5 | | | 3 | 28 |
| 両生類 | | 2 | | | 5 | 15 |
| 昆虫 | 1 | 43 | 11 | 2 | 27 | 90 |
| 生物種計 | 8 | 99 | 41 | 59 | 51 | 417 |

み物としても楽しめる内容になった。

今回作成のすいた市民環境会議版レッドリストが実効ある形にするために、吹田市に対して「吹田市版レッドリスト」をたたき台として「生物多様性吹田市戦略」作成のきっかけとするよう働きかけることにしている。

今回のレッドリストは製本した成果物発行を予定しておらず、すいた市民環境会議 HP 上で一般公開することになっている。

<https://www3.big.or.jp/~sskk/kanri/2021REDLISTofSUITA.pdf>



など、最近の調査結果を利用した。

策定委員は武田先生や、すいた市民環境会議会員のほか、「吹田の自然 2000・2011」で調査を担当した吹田自然観察会会員や、吹田野鳥の会会員にも協力をお願いした。

レッドリストには左表の通り生態系49ヶ所、生物種417種をリストアップし、ランク付けした。このうちAランクとした生態系8ヶ所、動植物99種については、その特徴、選定理由を解説文として入れ、70ページを超える大作となり、読

サンショウモ (サンショウモ科)

ランク 吹田市:A 大阪府:CR+CN 近畿:C 国:VU



図 サンショウモ

【種の特徴】
水生のシダ植物で、茎は長さ3~10cmとなり、まばらに枝分する。葉は3枚輪生で、その内2枚は対生状となり水面に浮く。残りの1枚は細かく裂けて、根のように水中にたれる。根はない。冬は枯れて胎子で過ごす。

【選定理由】
国では絶滅危惧Ⅱ類(VU)、近畿ではCランク、大阪府で絶滅危惧Ⅰ類(CR+ES)に指定されており、吹田市内でも山田西の水田で確認されているだけである。

生きもの委員会ニュース② 「レッドリストすいた 2021」希少種の今 平 軍二

コロナ禍のため集団での行動がほぼストップしている中、一人ないし小人数での調査・観察が続いている。その中からここ数か月、レッドリストに関する活動をいくつか紹介する。

1. 佐竹台住宅地のヒキノカサ(A ランク) ヒキノカサは花の季節が短く、草丈が小さいことから、観察適期が短いので、花の最盛期 3/30 に調査・観察会を開催した。大阪府内では大和川堤防にしかないといわれているヒキノカサが、住宅地内にあることから、生育環境を確認してもらうため、ヤマサギソウでお世話になった大阪自然史博物館学芸員横川昌史氏に連絡した。同館外来研究員梅原徹先生も参加され、大和川個体の種子から育てた生きた株を持参して下さった。ヒキノカサの特徴である紡錘形の根が吹田市個体にもあることから、



ヒキノカサの根(20210330)

ヒキノカサに間違いなしとの同定結果を、参加者全員で確認した。



2. 高野台千里第4緑地キンラン(A ランク) 千里第4緑地にキンランが生息していると当会会員の川畑清美さんの連絡を受け、キンランの成長推移を観察してきた。この間にキンラン2株が盗掘されたため、「キンランを盗らないで」と掲示したものの、その後も一度盗掘され、その株が埋め戻されるハプニングがあった。幸い継続して観察していた2株は盗掘されることなく育っており、現在種子が熟しつつある。



3. 佐竹台千里第6緑地ギンラン(B ランク) 佐井寺西土地区画整理事業の環境アセスメントにおいて、計画周辺部として調査された千里第6緑地にギンランがあることを知った。今年は花の季節に数回通り、当会会員村井弘二さんの協力も得て190株を確認した(昨2020年は約130株)。5月に入って吹田市が種子採取用の袋掛けをしていたことが分かり、今後、このギンラン群生地をどのように管理されるのか、注目したい。



4. 万博公園のクゲヌマラン(B ランク) 万博公園のクゲヌマラン群生地の樹林が2019年秋伐採され2年、それまで暗い林床で生活していたクゲヌマランが、明るい草はらの中で生きていけるかどうか、調査を予定していた。しかし、第3次緊急事態宣言により、万博公園が臨時休園となり公式調査はできなくなった。幸い平は春の渡り鳥調査で何回か入園する機会があり、野鳥調査終了後に、クゲヌマラン生育地の草刈り・株数調査を行い、163株を確認した。昨年(約210株)より少ないものの、昨年株が多数生き残っていることが確認できた。

5. レッドリスト A ランク種の新発見

今回のレッドリストは2021年3月までに確認した動植物をベースにしている。その後

- ・4/21 万博公園で哺乳動物の**アナグマ** (野鳥調査時に、吹田野鳥の会メンバー)
- ・4/30 千里第4緑地で原美智枝さんが**マムシグサ** (武田先生により**コウライテンナンショウ**と判明)

が見つかった。

両種とも吹田市では初認種であり、次回レッドリスト改定時には、A ランクでリストアップすることにしたと思っている。



小田会長から同氏宅に移植されていたヤマサギソウの開花直前の写真が送られてきた。レッドリストの原点は、10年前ヤマサギソウ発見にあることから、振り返ってみた。

1. 青山台でのヤマサギソウ発見記 2011/6/10 青山台で開催したウツボグサ観察会で、会員富淑子さんが不明種を発見し、それを有川佳代子さんから大阪自然史博物館に同定を依頼した結果、「ヤマサギソウ」とわかった。しかもヤマサギソウは1937年泉佐野市滝ノ池で確認されて以来で、大阪府で「70年ぶりの発見」とわかり、詳細な経緯がNature Study誌★に掲載された。これをきっかけに千里ニュータウン内の草地を注目するようになり、スズサイコ・イヌセンブリ・アイナエなど大阪府絶滅危惧種の発見につながった。



★志賀隆・長谷川匡弘「70年ぶりに大阪府でヤマサギソウの分布を確認」Nature Study,57(11):2-4

その後、ヤマサギソウ群生地を含めた府有地が、民間へ売却される計画が出たが、ヤマサギソウ群生地の地下に「大阪広域上水道」と「吹田市下水道」の配管が埋設されていたことが幸いし、売却されず公有地のままで残りヤマサギソウが保全できた。

2. 青山台草地のヤマサギソウ・ソクシンランなど A ランク種 ヤマサギソウの今を5/22に確認したところ、小田家のヤマサギソウのような膨らみがないものの、つぼみを持つ株が多数あり、あと1~2週間で緑色の花が楽しめると思われた。また、Aランク種としたソクシンランに花が咲き、スズサイコにはつぼみの膨らんだ株があり、コマメヅル・コケオトギリの幼苗も確認できた。



3. 藤白台・千里第2緑地のケアクシバなど A ランク種 千里第2緑地の遊



歩道の近くにある一株のケアクシバはつぼみを多数並べていた。あと数日で照明器具の花飾りを思わせる花が見られる筈なので楽しみにしたい。また、イヌザクラは花のシーズンを見逃したが、葉陰に青い実が連なっているのを確認した。

4. 万博公園・千里北公園のカワヂシャなど A ランク種

千里北公園水遠池は改修工事で水抜きされていた時、中州周辺にカワヂシャがあることを武田先生が確認された。池の改修が終わったので確認した所、水深の浅いところにカワヂシャが生きていた。



万博公園ではこのカワヂシャとミゾコウジュ、「森の舞台」の石畳の隙間にあることを、10年前に有川さんが見つけており、昨年両種とも再確認した。

今回5/15に入園した時、湿地状の所にカワヂシャ50株以上、やや乾燥した所にミゾコウジュが数100株と、両種がすみ分け状態で森の舞台を取り巻いていた。少し離れた乾いた石畳にオグルマが群生しており、石畳の隙間の雨による水分度合いから、湿地植物が自身の生きられる場所を選んでいると思われた。

～ 知床あれこれ～

理事 小田信子

知床半島は山々の尾根を境に斜里町と羅臼町に行政区が分かれています。羅臼町はほとんどが海岸線まで山が迫っているので漁業がとても盛んな町です。

それに対し、斜里町は知床半島の付け根から網走の方向に平野があり、農業も盛んです。昨年10月初旬に知床100平方メートル運動の植樹祭で斜里町に行ったときに、女満別の空港から斜里町までの畑であちこちにこぶし大の大きさの茶色い石ころのようなものが山のよりに積んでありました。

石ころの山はなんとジャガイモでした。土の中から掘り出して、搬出するのを待っている状態でした。一昨年参加した自然教室は7月末から8月、この時期は花が咲いていました。



斜里町ではポテトチップスの会社(皆さんよくご存じの大手企業)と契約をしている農家が多いのだそうです。

北海道で育った私は100坪程度の家庭菜園の手伝いをして、なかにはジャガイモも植えていたのですが、規模が違うとはこういうことかと感心しました。また、訪れる時期が違うと景色が違い、その土地の人々の生活も見えてくるものと感じました。

～ コロナ禍を生きる ～ 理事 岡本智子

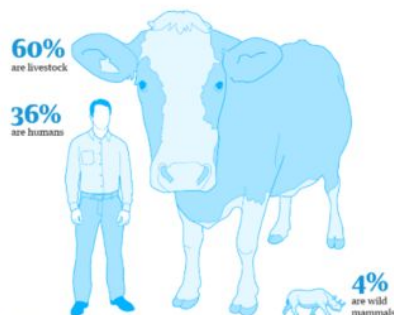
今年も緊急事態宣言下のGWとなり、「2年目」となってもその状況に慣れるのではなく、人々の日常に影響が今尚、続いています。この会報が皆さんの手元に届くころはどうでしょうか?おそらく、「変異さん」の動向に不安が募っていることでしょう。

コロナウイルスが私たちの前に現れてから「コロナは人間へのメッセージ」だというような話を聞きます。たしかにコロナ禍を眺めていると、そもそも人間の存在自体の不気味さというか、自然の中に生きる生き物としては歪であると感じます。

右上の絵は地球上に生きる哺乳類の割合です。人間36%家畜60%野生が4%という割合になっているそうです。SDGsの講座では「家畜が増え続けている現状から生態系が崩れ、コロナが収束したとしても家畜を媒介してコロナのような人間に影響するウイルス病が起こるかもしれない」と話していました。

変異株と追いかけっこをする中で、私たちはどう行動していけばよいのか考える日々です。経済成長やオリンピックが優先されるべきではないとコロナが言っていると私は考えています。

Of all the mammals on Earth, 96% are livestock and humans, only 4% are wild mammals



【The Guardian】
2018年5月21日の記事より



<お詫びと訂正>

前号(第130号2021年3月)に誤りがありました。お詫びして訂正します。

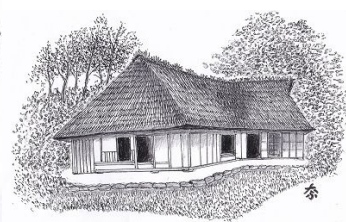
15頁南部の曲家(旧藤原家住宅)

正しいのは右図です。

(会報委員 松岡要三)



(誤) 信濃秋山の民家



(正) 南部の曲家

まちなみ散策会：変わりゆく吹田

円山町およびその周辺 ～歴史と桜のみち～

まちなみ委員 金指 弘

3月31日（火）コロナ禍が少し落ち着いてきたので、まちなみ委員と本会会員などの参加者7名で実施しました。当日は、天候に恵まれ桜のいちばんきれいなタイミングで最高の散策となりました。

関大前駅北改札を午前10時にスタート、再開発が進む円山町周辺を散策し、歴史ある寺社を訪ねながら千里山駅まで歩きました。参加者が日頃からの知り合いばかりだったので、半日コースのスケジュールでしたが参加者の意向に合わせた散策ペースで歩き千里山駅に着いたのは午後2時半頃になりました。

関大前駅から西へ円山町に向かう途中には、千里山西郵便局の前を、弧を描くように流れる上の川があります。昔、上の川が天井川になっている下流では垂水（豊津駅付近）の人々を水害で苦しめました。



公務員宿舎跡地に開発された住宅地。そこかしこの庭先で赤紫のハナズオウがひときわ目を引きました。（ハナズオウ：ハート形の葉が開く前に花がびっしりつくマメ科の落葉樹）



旧国家公務員宿舎前の桜はきれいに咲いていました。（写真右）



遠くまで見渡せる円山町のメインストリートに街路樹の桜が咲き誇る千里山住宅は、起伏に富んだ丘陵を開発して造られた「坂の街」モダンな住宅・石垣・緑の生垣が連続する景観が印象的です。（街の最も高い場所は駅より50mほど高い）



円山町から垂水神社へは北側の鳥居から階段を下りました。降りた境内の入り口横に、この場所へのマンション建設阻止をして、垂水神社の森を守った旨の碑文がありました。（写真右）



垂水神社本殿脇の桜の前で集合写真（マスク装着）



千里山には北摂山系、箕面台地、千里丘陵をくぐり抜けた地下水があちこちで湧き出ています。その中でも吹田の三名水と呼ばれている「垂水の冷泉」（垂水神社）「佐井の清水」、「泉殿の霊泉」があります。（写真右）



垂水神社の冷泉

玉の井公園の桜も満開でした。公園の北向い側にある垂水神社の鎮守の森の境界が縄文海進による海食崖の名残が見られる場所です。この海食崖は江坂神社まで続いています。



垂水神社から玉ノ井公園を経て日生グラウンド跡地に向かいました。日生グラウンド跡地の住宅開発は303区画。眺望の良いこの丘陵地は「円山」と呼ばれていました。円山町は、千里山西、華明（かめい）地区に次いで「千里山景勝住宅地」の名で売り出されたお屋敷街でした。

分譲住宅の建設が急ピッチで進んでおり、分譲中の標識や幟が見え、住み始めている方もいます。



円山中央公園は、まだ木々は植樹して間もないので、細く少し寂しい状態です。

この辺りはまだ、造成・基礎工事中



日生グラウンド跡地から名神高速を越える橋の上から名神高速と新御堂筋が交差するあたりに、大阪万博の時に利用された高速バスのバス停の跡が見えました。



「大阪万博と名神高速道路」より

五里山に向かう途中、傾斜地にある、第一中学校の法面に多くの桜が植えられていました。

五里山の地点は、かつては標高が83mあり、見通しのきく所で、堂島の米相場を伝達するための旗振り通信の中継地といわれています。



五里山から阪急千里線を挟んだ向かいの丘には、かつて千里山遊園がありました。ここから、飛行塔の雄姿が見えていたかもしれません。

（吹田市立千里第二小学校、吹田市立第一中学校は、「2019ノーベル化学賞受賞」吉野彰先生の母校）



五里山頂部（通称三本松）・旗振り通信跡・垂水西原古墳跡

五里山を後にして、千里山神社に行きました。千里山神社の社殿左手には「春姫大神」と刻んだ



自然石の碑が立っていて、その前には吉本興業を起こした吉本勢が寄贈した石製の蠟燭立がありました。

今回はスローペースでの散策だったので千里寺に着いた頃には、午後2時を過ぎていました。

しかし、旅行ツアーのように時間に縛られ忙しく散策しなかったため、参加者の皆さんには満足いただけたようでした。

まちなみ委員会ニュース

研修散策会「光秀の足跡を巡る 福知山」

まちなみ委員 松岡要三

2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」を先取りして、光秀の足跡を巡るまちなみ研修散策会です。2019年4月に長岡京から始まりました。2019年6月の亀岡に続き3回目です。

4月5日(月)理事やまちなみ委員など15名が参加しました。今回は費用を抑えるため、JR青春キップを使った急行や特急が使えない列車の長旅です。

朝8時50分JR吹田駅、9時JR新大阪駅と2班に分かれて集合。帰路は京都駅発18時14分発新快速乗車という丸一日の研修散策会でした。

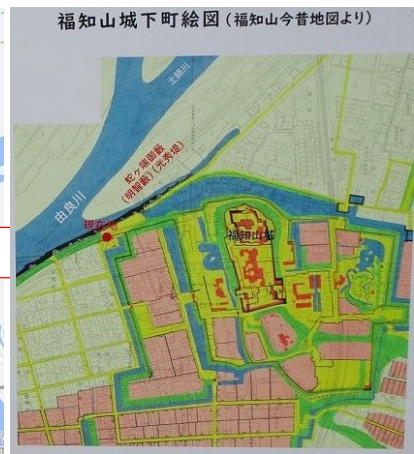
桜が満開のこの日を設定、宝塚駅を過ぎると車窓から満開の桜を楽しめました。

11時32分福知山着、福知山城の東にあるゆらのガーデンで、何軒かのお店に分かれ、銘々お好みの昼食を取りました。リーズナブルなお値段でゆっくり昼食を楽しみました。

午後から福知山城に入城。福知山城は明智光秀が創建、江戸時代には西国道要衝の城の地位を保っていました。明治になって廃城令により明治6(1873)年解体されました。

再建されたのは光秀没後400年の1982(昭和57年)、当時の塩見精太郎市長が天守再建の意向を示したことからことが進み、84年には再建期成会が発足。1口3000円の寄付を募る「瓦1枚運動」で5億円を集め、福知山市の一般財源にほとんど頼らず、その他寄付や補助金など総事業費8億1千万余りで完成、86(昭和66)年竣工した。

築城当時から残る個性豊かな石垣と北近畿唯一の天守(高さ約20m)が魅力です。天守閣内部では明智光秀や歴代城主に関する資料や映像を展示していました。天守閣の望楼からの城下の眺めは抜群でした。(写真右)



下城して内堀に沿って北上、光秀堤に登り、当時の城下町絵図の看板を見て由良川の合流地点へ。合流地点対岸の明智藪（此処で取った竹の弓は戦場で強い力となったとか）を見る。（写真右）



次に府指定登録文化財旧松村家住宅跡の洋菓子店足立音衛門を見学。明治末期から大正初期に建てられた大邸宅で、店舗として利用している母屋の他に、2階建ての洋館、茶室、御殿、ビリヤード場など9棟840坪の敷地内に立っています、数人はお土産に名物の栗菓子を購入。



新町通りから広小路へ。復元された福知山旧駅、約200年前伊能忠敬が宿泊した三右衛門宅などを見ながら、御霊公園・御霊神社へ。

御霊神社には明智光秀が祀られています。御霊公園には標識「浸水位標高 20m69cm 昭和28年9月25日台風13号」があります。

盆地にある福知山市を流れる由良川は、盆地の出口が狭くなっているため福知山は絶えず洪水の危険にさらされている町なのです。

アオイ通り・本町通りを経て福知山駅へ。駅構内の喫茶店でゆっくりコーヒタイムを取る。



約200年前伊能忠敬が宿泊した三右衛門宅

福知山発 15時55分。京都発 18時14分発で帰路へ。長い、ゆったりとした研修会でした。

すいた市民環境会議のブログでも報告されていますので見てください。

<http://sskk97.blog73.fc2.com/blog-entry-1216.html>

<参考>

- ・福知山観光協会：<https://dokkoise.com/>
- ・福知山城 <https://www.fukuchiyamacastle.jp/>
- ・足立音衛門：<https://www.otoemon.com/>
- ・御霊神社：御霊神社（福知山市） - Wikipedia



福知山旧駅と近畿で初めて走った C58 機関車



光秀が祀られている御霊神社



昭和28年台風28号の潮位を示す看板

【事務局よりお知らせ】

2021年度（第23回）通常総会のご案内

日時：2021年6月19日(土) 15時30分～16時30分

理事・監事を含め自宅からのリモートによる出席で開催します

< 総会次第 >

議案審議

| | |
|-------|--------------|
| 第1号議案 | 2020年度事業報告 |
| 第2号議案 | 2020年度決算報告 |
| 第3号議案 | 2021年度事業計画 |
| 第4号議案 | 2021年度事業予算 |
| 第5号議案 | 理事、監事の選任について |

正会員は同封はがきの「委任状」または「議決権行使書」を
6月15日(火)までにご提出ください。

リモート参加ご希望の方は k-kaigi@hotmail.co.jp までメール下さい。

担当：事務局 中村小夜子

< 寄付のお礼 >

1. 2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日)

2020年度も多くの方々からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

今回は2016年度に市民共同発電所事業で協力金をお預かりしていた方々にお返しをした際、に多くのご寄付をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。

下記の通り、43名の方々に、合計 793,880円 になりました。

大倉由美子 大橋文江 松岡要三 瀬屋好治 たんぽぽくらぶ 平軍二 今岡良充
ドリーマーぶくぶく 北川實 和田知子 高木千鶴 金指弘 岩溪恭子 川畑清美
村橋詳三 岸元 大澤浩子 李道子 藤井勝二 安田直子 下村敬三 岡田篤司
後藤紘海 青木タミコ 金子誠一 高島耕一郎 小田信子 西川整子 田畑寛子
米田絹子 平田敏 富淑子 越智清光 花井朋子 田中隆三 上田万吉 奥田倫子
後藤安子 木下嘉清 彦坂利久 伊藤昌一 塩谷和久 岡崎強一 (敬称略・順不同)

2. 2021年度(2021年4月1日から5月24日)

2021年度も下記7名の方から合計 24,080円ご寄付をいただきました。

厚く御礼申し上げます。

井上衣子 金指弘 小田忠文 安田直子 下村敬三 西川誠子 小田信子 (敬称略・順不同)

担当：会員会計 小田信子

< 会報委員会より >

- ・2020年度は皆様のご協力で、環境問題や吹田のトピックスなど幅広い記事を掲載することができました。お礼申し上げます。2021年度も皆様の投稿をお願いいたします。
- ・連絡先：松岡要三 TEL 090-6974-1058 メール matsuka.yh3@jcom.zaq.ne.jp